

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221741081	臨床総合演習 General Clinical Seminar	平井あかり・岡田瑞恵・田中優成・林明日香・山口央輝	✓		1	必修	4前期

科目の概要

修得した建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体および人々の日常生活を健康の面から支援するために不可欠な専門知識・技能を活用し、社会的に自立して生きていくうえで必要なスキル・リテラシー・教養等に関する一般的知識・技能を身に付け、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践することができる管理栄養士の育成を目指す（DP1-5）。

この科目は、3年次までに習得した病態別の生化学的検査、栄養補給、薬物の種類などの関連する基礎知識・スキルを総合的に活用し、症例に応じた栄養ケア・マネジメントを実施し、栄養ケア計画および栄養教育・指導プログラムを立案する。

管理栄養士として病院に務め、栄養指導や栄養・給食管理業務の経験がある教員を含む複数人で講義を行う。

学修内容	到達目標
① 疾病の疫学および成因・病態を学ぶ。 ② 各疾患のガイドラインを学ぶ。 ③ 症例に応じた栄養ケア・マネジメントを実施し、栄養ケア計画を立案する。 ④ 症例に応じた栄養教育・指導プログラムを立案する。	① 疾病の疫学および成因・病態を理解できる。 ② 各疾患のガイドラインを理解し、症例に活用できる。 ③ 症例に応じた栄養ケア・マネジメントを実施し、対象者の課題を解決する栄養ケア計画を立案できる。 ④ 症例に応じた栄養教育・指導プログラムを立案し、対象者の課題を解決できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	知識の獲得、思考力、判断力等を身に付けることに向けて粘り強く取り組むことができる。
	働きかけ力	グループワークで周囲に自分の考えを伝え、協力して計画を立案できる。
	実行力	講義内容の理解のためにテキスト以外の情報源を利用して自己学修をすることができる。また、予習時の疑問点を放置せず、講義や復習において自ら解決に向けて行動できる。
考え抜く力	課題発見力	病態別の発症原因を理解し、症例検討で課題を発見できる。
	計画力	計画的に授業や課題に取り組むことができる。
	創造力	学んだことを活かして栄養ケア計画および栄養教育・指導プログラムを立案できる。
チームで働く力	発信力	立案した計画を、グループワークあるいは課題提出により発信することができる。
	傾聴力	講義や他者の発言・意見をしっかりと聴くことができる。
	柔軟性	柔軟性をもって栄養ケア計画および栄養教育・指導プログラムを作成できる。
	状況把握力	自分自身やグループの状態を分析し、自分が果たす役割を考えることができる。
	規律性	欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物は期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	ストレス下の状況においても、新たな視点で発想の転換ができる。

テキスト及び参考文献

参考テキスト：3年次までに使用した教科書

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「臨床総合演習」は専門分野の臨床栄養学分野、公衆栄養学分野の科目の一部であり、臨床栄養学Ⅲ、栄養評価管理実習、在宅栄養管理論で獲得した知識・技術を活用する。

資格との関連：管理栄養士、栄養士、栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
予習を行い、今まで学んだ知識を整理して授業に臨みましょう。また、授業終了後は、知識定着のため復習をしましょう。	予習と復習を必ず行い、提出物は期限内に提出すること。資料および課題の配布、フィードバックはGoogle classroomを使用する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓	到達目標の①～④について筆記試験を行い、理解度を確認する。その正解率によって評価する。 知識の獲得（疾患の病態、栄養管理、栄養教育）：50% 知識の活用（疾患の栄養アセスメント）：25% 課題の解決（疾患の栄養ケア計画の立案、栄養教育・指導プログラムの立案）：25%	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		30	①	✓	立案した栄養ケア計画、栄養教育・指導プログラムを評価する。（クローン病、肝臓病、COPD、糖尿病、悪性腫瘍、腎臓病） 知識の活用（疾患の栄養アセスメント）：50% 課題の解決（疾患の栄養ケア計画の立案、栄養教育・指導プログラムの立案）：50%
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
			②				
			③				
			④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	【主体性】知識の獲得、思考力、判断力等を身に付けることに向けて粘り強く取り組むことができる。 【働きかけ力】グループワークで周囲に自分の考えを伝え、協力して計画を立案できる。 【実行力】講義内容の理解のためにテキスト以外の情報源を利用して自己学修をすることができる。また、予習時の疑問点を放置せず、講義や復習において自ら解決に向けて行動できる。 【課題発見力】病態別の発症原因を理解し、症例検討で課題を発見できる。 【計画力】計画的に授業や課題に取り組むことができる。 【創造力】学んだことを活かして栄養ケア・マネジメントおよび栄養教育・指導プログラムを立案できる。 【発信力】立案した計画を、グループワークあるいは課題提出により発信することができる。 【傾聴力】講義や他者の発言・意見をしっかりと聴く。 【柔軟性】柔軟性をもって栄養ケア・マネジメントおよび栄養教育・指導プログラムを作成できる。 【状況把握力】自分自身やグループの状態を分析し、自分が果たす役割を考えることができる。 【規律性】欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守る。提出物は期限内に提出する。 【ストレスコントロール力】ストレス下の状況においても、新たな視点で発想の転換ができる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が90%以上 A(優)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が80～90%	B(良)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が70～80% C(可)の基準：学修成果および学修行動評価の得点率が60～70%

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション (平井・10分) 炎症性腸疾患① 疫学(岡田・40分) 成因・病態(山口・40分)	講義 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	炎症性腸疾患の疫学および病態を理解し、栄養管理上の課題を説明できる。	(予習)「炎症性腸疾患」について予習する。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	炎症性腸疾患② クローン病の栄養管理(平井)	①講義 ②演習 ③グループワーク・ディスカッション ④発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	クローン病の病態を踏まえ、適切な栄養管理方法を提案し、栄養管理計画を作成できる。	(予習)「クローン病」の栄養管理のポイントをまとめる。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
3	肝臓病① 疫学(岡田・45分) 成因・病態(山口・45分)	講義 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	肝臓病の疫学および病態を理解し、栄養管理上の課題を説明できる。	(予習)「肝臓病」について予習する。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	肝臓病② C型肝炎の栄養管理(林)	①講義 ②演習 ③グループワーク・ディスカッション ④発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	C型肝炎の病態を踏まえ、適切な栄養管理方法を提案し、栄養管理計画を作成できる。	(予習)「肝臓病」の栄養管理のポイントをまとめる。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
5	肝臓病③ 栄養教育(田中)	①講義 ②演習 ③グループワーク・ディスカッション ④発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	肝臓病の病態に応じた栄養教育方法を提案し、具体的な指導計画を作成できる。	(予習)「肝臓病」の栄養教育について予習する。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
6	呼吸器疾患① 疫学(岡田・45分) 成因・病態(山口・45分)	講義 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	呼吸器疾患の疫学および病態を理解し、栄養管理上の課題を説明できる。	(予習)「呼吸器疾患」について予習する。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	呼吸器疾患② COPDの栄養管理(平井)	①講義 ②演習 ③グループワーク・ディスカッション ④発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	COPDの病態を踏まえ、適切な栄養管理方法を提案し、栄養管理計画を作成できる。	(予習)「COPD」の栄養管理のポイントをまとめる。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
8	糖尿病① 疫学(岡田・45分) 成因・病態(山口・45分)	講義 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	糖尿病の疫学および病態を理解し、栄養管理上の課題を説明できる。	(予習)「糖尿病」について予習する。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	糖尿病② 2型糖尿病の栄養管理(林)	①講義 ②演習 ③グループワーク・ディスカッション ④発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	2型糖尿病の病態を踏まえ、適切な栄養管理方法を提案し、栄養管理計画を作成できる。	(予習)「2型糖尿病」の栄養管理のポイントをまとめる。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
10	糖尿病③ 栄養教育(田中)	①講義 ②演習 ③グループワーク・ディスカッション ④発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	糖尿病の病態に応じた栄養教育方法を提案し、具体的な指導計画を作成できる。	(予習)「糖尿病」の栄養教育について予習する。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	悪性腫瘍① 疫学(岡田・45分) 成因・病態(山口・45分)	講義 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	消化器癌の疫学および周術期の病態を理解し、栄養管理上の課題を説明できる。	(予習)「消化器癌」について予習する。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	悪性腫瘍② 胃がん術後の栄養管理(平井)	①講義 ②演習 ③グループワーク・ディスカッション ④発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	胃がん術後の病態を踏まえ、適切な栄養管理方法を提案し、栄養管理計画を作成できる。	(予習)「胃がん術後」の栄養管理のポイントをまとめる。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
13	腎臓病① 疫学(岡田・45分) 成因・病態(山口・45分)	講義 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	腎臓病の疫学および病態を理解し、栄養管理上の課題を説明できる。	(予習)「腎臓病」について予習する。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
14	腎臓病② CKDの臨床管理(林)	①講義 ②演習 ③グループワーク・ディスカッション ④発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	CKDの病態を踏まえ、適切な栄養管理方法を提案し、栄養管理計画を作成できる。	(予習)「CKD」の栄養管理のポイントをまとめる。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	腎臓病③ 栄養教育(田中・80分) まとめ(平井・10分)	①講義 ②演習 ③グループワーク・ディスカッション ④発表 google classroomによる課題の提出およびフィードバック、質問の受付	腎臓病の病態に応じた栄養教育方法を提案し、具体的な指導計画を作成できる。	(予習)「腎臓病」の栄養教育について予習する。 (復習)授業内容をまとめ、国家試験問題を解く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力